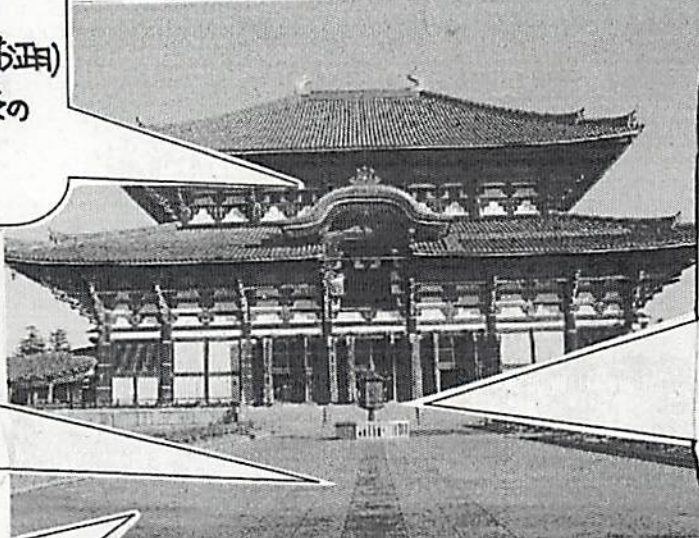


# 大仏殿の秘密山



大仏殿の真ん中には、小さな怒状(おど)が、  
実は、年に2回(お盆・お正月)  
だけここから大仏様の  
彦頁(ひこがへ)を見ることか  
できます!

これは八角灯籠(はちがくとうろう)で、東大寺  
の中で唯一当時の  
のまま残っている  
ものです。  
ここには木製の  
な楽器を演奏し  
ている人が描か  
れています。どん  
な楽器を演奏し  
ているか、お見  
てみてください。

大仏殿の前の道には、4  
色の石が敷き詰められて  
います。真ん中から、インド  
→中国→韓国→日本の石に  
なっています。これは仏教が  
伝わってきた流れを  
表しています。

当時の大仏殿は567年の焼き討ち  
で焼かれてしまいました。そして公  
慶上人が寄付を集め、再建しまし  
た。実は、当時のものより小さくなっ  
ているのです。

大仏殿の屋根を支える、ますぐぐ、丈夫で、長さが24m以上の大き  
な木を探し、ようやく宮崎県の山中に小さわしい松を2本見つけま  
した。それを海まで運び出すのに5ヵ月かかり、鹿児島湾→瀬  
戸内海→淀川→木津川を船で運びました。木津からは1000人  
を超える奈良町の人々がひいて、東大寺まで運んだそうです。

## 聖武天皇 (大仏建立の詔)



「如し更に人有りて、一枝の草、  
一把の土をもちて像を  
助け造らむと情に願はば、  
怒に聴せ。」

## 真如親王 (大仏の修理)



「天下の人を命て、一文の銭、  
一合の米を論ぜず、力の多  
少にしたがい、以て加え  
進むることを得せしめん」

## 重源上人 (大仏復興)



「尺布寸鉄といえども、  
一木半銭といえども」

## 公慶上人 (大仏・大仏殿の復興)



「天下の仏心を集めて  
一仏とす」  
「一針一草の喜倍」

# 東大寺に関わった人々の思い

**最後に...**  
一年間「東大寺のスペシャリスト」になるた  
めに学んでいくと、東大寺に関わってきた人々  
の「人々の思いや願い」によって、今の東大寺が  
あることが分かりました。奈良に住む私たちは  
この奈良のだからものを大切にし、このたからも  
のに込められた人々の思いや願い、素晴らしい  
しさをたくさんの人たちに伝えていかなければな  
らないと思います。今回は、柏第二中学校  
のみなさんに、少しですが、東大寺の素晴らしいさを  
伝えることができて、とてもうれしく思っています。  
素敵な修学旅行になりますように...!!

一九九八年の世界遺産委員会において奈良市  
にある東大寺、春日大社、春日山原梅林、元興  
寺、薬師寺、唐招提寺、平城宮跡の八つの文化  
財が古都奈良の文化財という名称で世界遺産に  
登録されました。世界遺産に登録されるには六  
つの基準のうち一つはクリアしなければなりま  
せん。古都奈良の文化財は、なんと中国や朝鮮  
との交流によって、日本の文化が大きく発展し  
たことを示している「古代の日本の首都に開花し  
た文化を伝えるきわめて貴重な証拠」日本の国家  
や文化の基礎が整った時代である奈良時代の様  
子を伝えている「神道や仏教など、日本人の信仰  
と密接な関係があり、年中行事などを通じて市  
民の暮らしの中に生き続けている」という項目で  
四つクリアしたのです!!

# 東大寺は世界遺産に登録されたの?